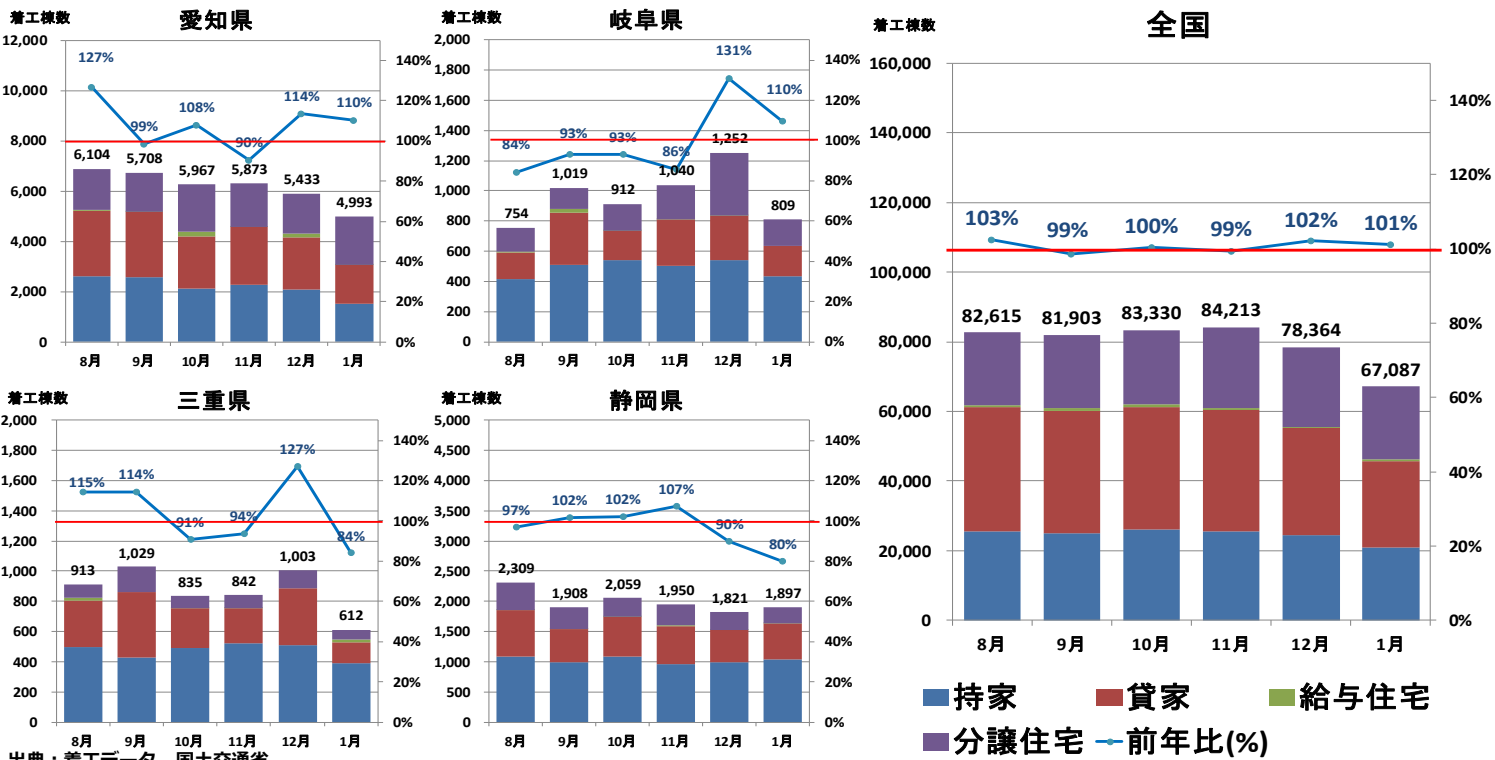


東海4県の着工推移



建設キャリアアップシステムとは

建設キャリアアップシステムとは、**技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積**し、技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備することで、将来にわたって建設業の担い手を確保することを目的としています。官民一体となってシステムの構築を進めているもので、（一財）建設業振興基金がその運営主体となっています。システムは**平成31年4月から本運用の開始を予定**しています。

システムのポイント

建設キャリアアップシステムでは、一人ひとりの技能者がまちがいなく本人であることを確認したうえでシステムに登録し、IDが付与されたICカードを交付することが最初のスタートになります。ICカードが本人を証明する機能を担うことになります。その上で、**いつ、どの現場に、どの職種で、どの立場（職長など）で働いたのか、日々の就業実績として電子的に記録・蓄積**されます。同時に、どのような資格を取得し、あるいは講習を受けたかといった技能、研鑽の記録も蓄積されます。こうして蓄積された情報を元に、最終的には、それぞれの技能者の評価が適切に行われ、処遇の改善に結びつけること、さらには人材育成に努め優秀な技能者のかかえる事業者の施工能力が見えるようにすることを目指します。

※詳細は（一財）建設業振興基金ホームページでご確認ください（<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/>）

平成31年度戸建住宅（注文・建売）における ZEH支援事業の主なポイント（予定）

環境省は、2019年度のZEH（ゼロエネルギー住宅）に対する補助金で、ZEHに初めて取り組む住宅事業者が補助金を使いやすくするために、**抽選方式の一般公募とは別枠で、抽選のない枠を予約できるようにする**と発表しました。

ZEH+

【補助対象】

『ZEH+』 及び
Nearby ZEH+
（寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る）

【補助額】 115万円/戸

【採択方式】

事前枠付与方式
（枠の公募は年度初めに1回を想定）

ZEH

【補助対象】

『ZEH』
Nearby ZEH
（寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る）及び
ZEH Oriented
（都市部狭小地の二階建て以上）

【補助額】 70万円/戸

【採択方式】 抽選方式

複数の回次（期）に分ける想定。
**（新規取組みZEHビルダー・プランナー
向けの公募方式を別途検討）**

共通

■低炭素に資する素材（CLT:直行集成版）を構造耐力上主要な部分のうち、壁、床版、屋根版に使用し、又は先進的な再エネ熱利用技術（地中熱利用技術、太陽熱利用技術）を活用する場合：**定額を加算（上限90万円/戸）**

■蓄電システムを設置する場合：**2万円/kWh加算（上限20万円又は補助対象経費1/3）**

■ZEHビルダー/プランナーにより設計・建築・販売等される住宅であることが要件

■建築物省エネ法第7条に基づく省エネ性能表示（BELS）の取得・提出を必須とし、申請の柔軟化を図る。

■Webプログラム未評価技術の公募、登録、補助対象経費の上限額、採択目安数については、必要な見直しを行い継続

■事業完了後2年間、居住者に対して、エネルギー使用量（電気、ガス、灯油）等のアンケートを実施するほか、その他の事項については、基本的に平成30年の制度を踏襲予定。

※本制度は制度設計中のものであり変更の可能性があることをご留意ください。

※詳細は経済産業省資源エネルギー庁のホームページでご確認ください（<http://www.enecho.meti.go.jp/>）